

整備インフォメーション

Vol. 93

三菱 アウトランダー、ミラージュ、eK ワゴン、eK スペース /

日産 デイズ、デイズルークス

新品バッテリー交換後もアイドリングストップが作動しない時の処置要領

三菱自動車工業株式会社／日産自動車株式会社

アイドリングストップが作動しない」との申し出に対して、バッテリーを新品に交換した後でも、アイドリングストップが作動しない状態が継続した場合の処置要領をご案内いたします。

■対象型式

会社名	通称名	車両型式	その他
三菱	アウトランダー	GF7W、GF8W	アイドリング ストップ (AS&G) 装備車
	ミラージュ	A03A、A05A	
	eK ワゴン	B11W	
	eK スペース	B11A	
日産	デイズ	B21W	
	デイズルークス	B21A	

■処置内容

次の手順にてバッテリーを充電状態にして、故障診断機にてバッテリーチェックフラグを確認した結果、チェックフラグが ON の場合は、バッテリー電流センサーを交換して下さい。なお、チェックフラグが OFF となった場合は、別の原因でアイドリングストップが禁止されているため、整備解説書に沿って点検をお願いします。

【確認手順】

＜手順 1＞ バッテリーチェックフラグが ON であることを確認する。

＜手順 2＞ バッテリーをアイドル状態で約 15 分放置して充電する。

＜手順 3＞ 充電が完了したら、いったん IG OFF し、約 20 秒待ってからエンジンを始動させる。

始動して約 5 秒後に IG OFF し、約 20 秒待ってから再度エンジンを始動させる。

＜手順 4＞ バッテリーチェックフラグを確認する。

■交換作業時の注意事項

バッテリー電流センサーを交換する際には、バッテリー端子にまっすぐ奥まで差し込み、整備解説書に記載の規定トルクにて電流センサーを装着して下さい。

過度の締め付けはバッテリー端子からのバッテリー液漏れを引き起こす恐れがあります。

また、締め付け不足は始動不良を引き起こす恐れがあります。

【規定トルク】

会社名	通称名	車両型式	マイナス ターミナルナット	バッテリー マイナスケーブル (アース線) ナット
三菱	アウトランダー	GF7W、GF8W	$6.0 \pm 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$	$12 \pm 2 \text{ N} \cdot \text{m}$
	ミラージュ	A03A、A05A	($4.5 \sim 7.5 \text{ N} \cdot \text{m}$)	($10 \sim 14 \text{ N} \cdot \text{m}$)
	eK ワゴン	B11W	$6.5 \pm 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$	$8.5 \pm 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$
	eK スペース	B11A		
日産	デイズ	B21W	(5.0~8.0 N・m)	(7~10 N・m)
	デイズルークス	B21A		

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.84

【内容】異音の修理に出したが、何日経っても終わらない

・車名：軽自動車 ・登録年月：平成25年 ・走行距離：70,000km

平成25年にディーラーで新車購入以来、定期点検及びエンジンオイルは欠かさず、同ディーラーで行って来た。

平成30年5月25日、他県の軽専門工場へ車検整備依頼を実施。半日車検と云う謳い文句。午前に車を入庫させ夕刻引取ったが、引取り直後に異音が発生したため、直ぐ工場にクレーム入庫した。代車を用意されたが、仕事の都合上5日間は代車を借りっぱなしになる旨説明した所、店が了承し帰宅。以前より、2回目車検は安価な店へ出すことを決めていたとのこと。

10日程経って、同店より連絡が入り、「ギアがRに入らない。アイドリングストッパンプが点灯したため、ディーラーへ出して診断機にて原因調査を行う」との連絡が入った。さらに1週間程経過し、「ディーラーでCVTオイルを交換し調子が悪くなったと、ディーラーから連絡があった」との報告が工場からあったが、それ以来、また1週間以上連絡なし。

県消費生活センターに相談したところ、整備相談窓口を紹介されたとのこと。相談窓口として解決をして欲しい。

【対応】

6月20日11時20分、相談窓口として以下の説明を実施。

- ・相談窓口は会員工場とユーザーとの理解相違や、その他問題について助言等を行い、双方の円満解決を目的としている。今回の他県の軽専門工場はその県の振興会会員か否かは不明であり、調査してから連絡を入れる。
- ・仮に会員外の場合は、相談窓口より直接的に相手側へ連絡を取り難い。その際は、電話連絡だけではなく、内容証明等を送付しておくことも有効、と助言。
- ・会員工場であれば、ユーザーのクレームに係る経緯を確認できる。
- ・ユーザーは事業者へ連絡を取り、説明を受ける権利がある。店より連絡無いなら、納得行くまで説明を求めるべきである。(※その後、工場所在の県の振興会へTELし確認したところ、工場は会員認証工場であることが判明)

6月20日11時50分、相談者より入電。

- ・店曰く、「車は未だディーラーにあり、対応が遅れている」、「ディーラーより戻り次第、納車する（現住所へ）」、「詳細についても、納車時に経緯を説明する」とのこと。
- ・納得できない。

6月20日13時、相談窓口より工場へ架電。

- ・責任者曰く、「当社の手違いにより、遅くなった。車両はOK。CVTオイルが下限ギリギリだったため、念のため交換し、異音も無くなった。明日にでも納車させていただく」とのこと。

翌日、相談者より納車されたとの連絡を受け、相談を終了した。